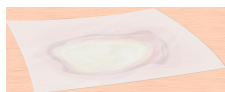


傷の手当について

～軽いすり傷や切り傷の場合～

【傷の手当方法】

- ①傷口を清潔な水道水でよく洗う。
- ②清潔なガーゼでふきとる。
- ③適度な強さで傷口を圧迫し止血する。
- ④市販の創傷被覆材（キズパワーパッドなど。薬局・ドラッグストアなどで買えます）を貼ります。



- ⑤ケガの直後はフィルムから浸出液が漏れ出ることがあるため、外側をガーゼで覆うなどしてください。
- ⑥傷口がふさがると、浸出液は徐々に減っていきます。ピンクでツルツルの皮膚になり、浸出液が出なくなれば（フィルムが白く膨らまない）フィルムを貼る必要はなく、普通の絆創膏で結構です。浸出液が出ている間は、上記の①～④を繰り返します。

【注意事項】

- ①傷から出る浸出液には傷を治す成分が含まれています。傷を消毒したり、乾かしたりすると、治そうとする細胞が死んでしまうので、傷は乾かしたり、原則消毒はしません。
- ②かみ傷、刺し傷、裂け傷、広い・深いやけどのきたない傷の時は、病院などを受診してください。
- ③傷の経過を観察しましょう。以下のような感染症状がある場合は、病院などを受診してください。
 - ・傷口周囲が赤くなる
 - ・ズキズキした痛みが続く
 - ・熱や腫れがある
 - ・フィルムをはがした際、淡黄色でねばねばし、臭いのある膿がある
 - ・貼り替えながら、数日使用してもよくなるらない
- ④治りかけたばかりの皮膚は、直射日光をたくさん浴びると色素沈着を起こし、シミになることがありますので、注意してください。



参考資料

キズのおはなし 医療法人 厚生堂 長崎病院 <http://www.nagasaki-hp.jp/mutsumi/pdf/170301.pdf>

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 BAND-AID キズパワーパッド 添付文書 2017年4月改訂（第4版）

< 福島大学保健管理センター >

電話 024-548-8068 メール hcc-admin@adb.fukushima-u.ac.jp

ホームページ <http://www.hcc.fukushima-u.ac.jp/>